

障害者生活ホーム

令和7年度（2025年度）事業報告

1. 運営方針

- （1）利用者個々の人格及び尊厳を最大限尊重する視点に立ったサービス提供に努める。
- （2）利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じ、共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の介護、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う
- （3）利用者のニーズを常に把握し、効果的なサービスの提供と効率的な事業運営に努めるとともに、サービスの質および運営状況の評価を行い、常にその改善を図る。
- （4）利用者の家族もしくは身元引受人又は成年後見人・補佐人・補助人（以下「家族等」という。）、通所・通勤先をはじめ、関係機関、地域社会との連携を図り利用者の社会的自立を目指した運営に努める。
- （5）情報公開・法令遵守等最新の福祉動向の摂取に努め、事業運営の信頼度・透明性・公平性を確保する。

2. 職員等配置

- ・正規職員 16 名
- ・正規職員以外 20 名（非常勤職員 18 名 業務委託 2 名）

合計 36 名

3. 利用者受入等 ※日数・％等は前年同期比

定員	開所日数	延べ利用者数	平均利用者数	稼働率		利用率	
44 名	365 日	14,573 名	40 名	90.7%	-2%	96.2%	-0.3%

※平均利用者数＝延べ利用者数÷開所日数（小数点第2位切り上げ）

※稼働率＝延べ利用者数÷（定員×開所日数）（小数点第2位四捨五入）

※利用率＝延べ利用者数÷（在籍数 41.5 名×開所日数）（小数点第2位四捨五入）

*新規利用者 4 名

*退所者 2 名（施設間異動（法人内） 1 名・他グループホーム 1 名）

4. 重点目標に対する取り組み状況

第5次経営改革プラン項目				回数・日付	人数
I 面的支援体制整備の推進					利：利用者 職：職員
1	地域生活支援に掛かる事業の推進	内容	（1）新規建設ユニットへの安定的な生活移行の支援（新規利用者、生活場所を変える利用者）。 ⇒11月新規ユニット（大森西第二幸陽ホーム）が開所。6名が入居。 （2）サテライト型住居利用者の支援継続、利	適宜	利6名

			用終了後の関係機関連携強化。 ⇒サテライト型住居利用者 2 名がサテライト型住居支援を終了。スムーズな移行を目指し、転居先事業所と連携を継続。 (3) 老朽化ユニット引越し計画及び地域生活支援センター構想を含む生活ホーム事業の中長期的グランドビジョンの検討継続。 ⇒老朽化ユニットを閉所し 11 月新規ユニットを開所。	6 月 11/1	利 2 名 利 6 名
第 5 次経営改革プラン項目				回数・日付	人数
Ⅱ 地域に根ざした公益的な取り組みの推進					
2	地域行事の参加と地域公益活動の推進	内容	(1) 夏祭りや地域清掃等、地域行事の利用者参加機会の促進。 ⇒糀谷地区一斉清掃 (6/14・10/4) ⇒西糀谷二丁目盆踊り大会 (7/29) ⇒福祉のまち糀谷一斉打ち水 (8/17) ⇒障害者生活ホーム・ラナハウス西糀谷合同中、しいのき園ふれあい祭りにブース出店参加。(8/18 テーブルボウリング、プラ板キーホルダーコーナーで地域貢献) (2) 糀谷地区周辺の挨拶・見守り活動に主体的に取り組み、安心・安全な地域作りに参画 (子ども SOS の家活動)。 ⇒地域の見守り活動を開始。猛暑日には、ラナハウス西糀谷前で打ち水実施。 ⇒糀谷小学校の夏休み余暇支援「わくわくスクール」に参加。大森東福祉園と協力し、「バスボム作り」を実施。(7/29) ⇒糀谷地区一斉防災訓練参加。(11/16)	2 回 1 回 1 回 1 回 適宜 1 回 1 回	利 33 名、職 16 名 利 10 名、職 4 名 利 13 名、職 5 名 利 17 名、職 9 名 各回 2~3 名 利 2 名、職 4 名 利 14 名 職 6 名
第 5 次経営改革プラン項目				回数・日付	人数
Ⅲ 分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進					
3	(1) 虐待防止・権利擁護の更なる推進	内容	(1) 事例検討の活性化(「地域生活支援に関するグループ事例検討会」開催・事務局)、スマイル事例の共有と活用。 ⇒地域生活支援に関するグループ事例検討会 (6/3・10/7・2/3) ⇒スマイル事例(にやりほっと)を虐待防止人権委員会にて発表・共有。	3 回 35 件	職 20 名 —

	(2) 成年後見 制度の活 用推進		(2) 入居利用者の後見制度活用支援。 ⇒1名利用に繋がる。引き続き、活用に向けた アプローチを継続中。	適宜	利1名
第5次経営改革プラン項目 IV 福祉人材の確保・育成・定着				回数・日付	人数
4	利用者の個別 ニーズに合わ せた支援力の 向上	内 容	(1) 利用者の地域生活移行・高齢化・重度化 及び重複障害に係る支援力の向上のため の内外部研修の推進 ⇒オンデマンド研修（サポーターズカレッジ） の活用。毎月テーマごとに視聴。 ⇒「地域生活支援に関するグループ事例検討 会」の企画及び開催。多くの関係機関を交え 「生活者としての利用者理解や地域生活支 援の実態」に着目した事例検討実施で学び合 い地域づくりへの参画に資する。(6/3・10/ 7・2/3) (2) アセスメント力向上及び現状の支援に則 したマニュアルの改訂。 ⇒ユニット会議を開催。利用者像の理解や支援 方法、今後の支援の方向性について事例検討 実施。	12回 3回 12回	支援員全員 職20名 支援員全員
第5次経営改革プラン項目 V 社会の動向を踏まえた持続可能な経営基盤づくり				回数・日付	人数
5	安定的な事業 所運営	内 容	(1) 法令遵守の徹底 ⇒就業規則、管理運営規程、その他関係法令等 の確認。 ⇒法人本部発出「個人情報の取扱いに関する注 意喚起について」周知。 ⇒法人本部発出「ウェルネスメール（健康にま つわる情報誌）」周知。 (2) 安定した職員体制の確保 ⇒第一・第三幸陽ホームの夜勤体制の他に、7月 より第二幸陽ホームの夜勤化開始。 (3) 地域連携推進会議の設置及び活動。 ⇒地域連携推進会議を実施（9/10）。	適宜 1回 適宜 7月～ 1回	— — — — 職6名

5, 年間行事実績

4月	－
5月	－
6月	－
7月	日帰り旅行(7/20・26 ランチ 大森方面)・西糀谷二丁目盆踊り(7/29)
8月	糀谷夏のお祭り(8/17 打ち水、しいのき園ふれあい祭りに企画出店参加)
9月	日帰り旅行(9/23 葛西臨海公園)
10月	日帰り旅行(10/13 東京駅キャラクターストリート)
11月	日帰り旅行(11/13 ピザ作り体験)
12月	日帰り旅行(12/20 映画鑑賞)
1月	新年懇親会(1/19)
2月	－
3月	－

6, 福祉人材の確保・育成・定着

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	OJT・職場内研修	(1)サービス提供ガイドライン、各種業務標準を活用して新キャリアパスに応じた OJT の実施 ⇒法人キャリアパスに応じて OJT 実施。 (2)職場内研修の計画実施 ① サービス管理、障害特性・支援技術等 ② 虐待防止・権利擁護関連 ③ 危機管理・防災・応急救護等 ④ 感染症対策・保健衛生等 ⇒オンデマンド研修（サポーターズカレッジ）視聴	適宜 1回 5回 4回 2回 12回	5名 15名 65名 49名 19名 15名
2	外部研修	① 障害特性 5講座 ② リスクマネジメント 0講座 ③ 利用者支援・技法 1講座 ④ 福祉サービス・制度 2講座 ⑤ 経営・運営 2講座 ⑥ その他 2講座	15回 － 2回 4回 2回 2回	11名 － 2名 4名 1名 2名

7, その他特記事項

・なし。

以上